



災害対策で国がやることは？

安倍首相は広島県の深刻な土砂災害の報告を受けてもゴルフを一時間続けた。その後、首相官邸に出たが、夕方には別荘に戻った。国として新たな対応を立てなければならぬ。うともしなかつたのか？川柳に「『河口湖ゴルフ豪雨』と命名す」（朝広三猫子・朝日新聞）と出た。これは歴史に残るだろう。

国がやることは
 広島で崩落した土砂は五十万立方メートル。約百五十万トン。取りのけるのに百億円かかる。広島市や県に任せられる範囲を超えている。国が財政も含めて対策に乗り出さなければならぬ。ではないか？
 何よりも大切な国土、国民の暮らしではないか？

被災者救済では
 被災者が大変なのは避難所生活だ。東日本大震災の教訓で、段ボールの間仕切りとか、段ボールの簡易ベッドとか、様々な新しい支援が寄せられている。でも、国の力を使えばもっと高度の対策が出来た筈だ。例えば、四十フィートコンテナは約二八平米の広さがある。予めワンルームマンションのように加工しておけば、トレーラーで運んで、すぐ使える。国が沢山作って日本各地に分散して保管しておけば、災害時にすぐ対応できる。体育館や教室の避難所よりずっと快適だ。
 東日本大震災の教訓を国として生かすのが首相の役目だと思わうか・・・。
 皆さんはどう思われますか？

梅池ヒュツテ

長野県小谷村梅池自然園
二〇一四年八月



梅池自然園は白馬乗鞍岳の南東、標高一八五〇～二〇二〇mに広がる湿原。広さ約一平方キロ。麓からゴンドラリフトとロープウェイを乗り継いで行くことが出来る。お花の先生だろうか、和服姿の妙齢の女性も来ていた。湿原内は木道が整備されているので和服でも、問題ない。尤も、白馬大雪渓の見える辺りへ行くには、登山靴などの装備が必要。

この自然園の魅力は何と言っても季節の花が豊富なこと。
 ロープウェイの頂上駅には「今自然園で見られる花」として数十の花や実の載ったパンフレットが販売されていた。

トリカブト、イワシヨウブ、ミヤマアキノキリンソウ・・・。ナナカマドは早くも紅葉を始めていた。